





## 特集 近づくつくばエクスプレス開業と沿線まちびらき

### つくばエクスプレス つくばエクスプレスの概要

- 1 着工及び開業  
着工 平成6年度  
開業 平成17年秋(予定)
- 2 予定路線  
秋葉原～つくば 約58.3km(茨城県内24.2km)
- 3 駅数  
20駅(茨城県内6駅)
- 4 建設費総額  
約9,400億円
- 5 事業主体  
首都圏新都市鉄道株式会社(設立:平成3年3月15日)  
株主 東京都, 埼玉県, 千葉県, 茨城県, 千代田区, 台東区, 荒川区, 足立区, 八潮市, 三郷市, 流山市, 柏市, 守谷市, 谷和原村, 伊奈町, つくば市, 民間企業
- 6 1日当たりの乗降客数  
約28万4千人(開業時:想定)
- 7 つくばエクスプレスの特徴  
早い 最高速度130km/h  
全線所要時間最速45分  
安全で確実 完全立体交差  
ATO(自動列車運転装置)支援のワンマン運転



守谷駅



みらい平駅



つくば駅(地下1階:改札口)



つくば駅(地下2階:ホーム)

### つくばエクスプレスの工事進捗状況

土木工事は今年3月末に、レール敷設工事も5月に全線で完了しました。

駅舎建築工事も順調で、既に外観は完成に近い駅舎の姿がみられるようになっており、電気設備工事も仕上げの時期を迎えてきている状況です。

### 第2期車両走行試験開始

4月から第2期走行試験が守谷駅からみどりの駅までの約12.3kmの区間で始まりしました。

今回の走行試験では、130km/hの速度で走行されるほか、直流と交流の切り替え、すれ違い、可動式ホーム柵との連動など様々な試験が実施されています。

さらに、11月からは全線での走行試験が実施される予定です。

走行試験には、昨年4月から7月まで実施された第1期車両走行試験の結果を踏まえ、兵庫県内や山口県内の工場で量産された車両が使われています。車両の総合基地への搬入は今年1月から行われておりますが、今後も来年1月まで毎月2～4編成が引き続き搬入される予定です。

### 駅名の決定

昨年10月に、駅名が発表されました。

地元をはじめ全国から、駅名について多数のアイデアをお寄せいただき、また、地元の皆様のご理解を賜り、沿線地域の先進性や豊かな自然を表現した駅名とすることができました。

また、鉄道会社では、今年4月に採用した職員の研修の実施や、来年4月採用の職員の募集など様々な準備を着実に進めております。

### 沿線のまちづくり

#### 県内の沿線開発地域

茨城県内のつくばエクスプレス沿線地域では、茨城県、都市基盤整備公団等が、つくば市、伊奈町、谷和原村及び守谷市にわたる8地区約1,700haで、区画整理事業により21世紀にふさわしい新しいまちづくりを進めています。

このまちづくりの大きな特徴は、「大都市地域における宅地開発及び鉄道整備の一体的推進に関する特別措置法」に基づき、鉄道建設と一体的に事業を実施していく点にあります。現在、つくばエクスプレスの開業に合わせたまちびらきを目指し、駅周辺のエリアを中心に整備を進めています。



伊奈・谷和原丘陵部地区では，駅の近くの県有地 2.8ha で民間アイデア活用型共同分譲方式による処分手続に着手し共同事業者を決定したところであり，来年の夏にも宅地の分譲を始める予定です。今後，他の地区でも順次処分手続を進めていきます。

沿線整備地区

地区名	施行者	面積 (h a)	計画 人口 (人)
守谷駅周辺	守谷市	39	3,800
守谷東	組合	40	2,400
伊奈・谷和原丘陵部	茨城県	275	16,000
萱丸	都市公団	293	21,000
島名・福田坪	茨城県	243	15,000
上河原崎・中西	茨城県	168	11,000
葛城	都市公団	485	25,000
中根・金田台	都市公団	190	8,000

魅力あるまちづくりに向けて

茨城県の沿線地域では，駅を中心とした無電柱化やバリアフリー化等生活環境に配慮したまちづくり，花と緑にあふれる駅前広場の整備，まちの拠点となるまちづくりセンターの整備等を進めていくとともに，つくば市内では大規模に貯留浸透施設を導入していく等地域独特のまちの魅力を創出していきます。

また，住宅も標準的な価格帯の戸建住宅ばかりでなく，筑波研究学園都市の先進性と豊かな環境を合わせ持っているこの地区の特色を生かした，自然環境に恵まれたゆとりある広さの戸建住宅や，環境に配慮した住宅，マルチメディア住宅といった先端的な住宅を提供していきます。さらにつくばエクスプレス沿線まちづくりアイデアワークショップの検討結果や伊奈・谷和原丘陵部地区を課題地に行なわれたすまい・まちづくり設計競技の入選作品を生かした，先駆的，モデル的住宅や街区の実現など，他の地域から多くの方に来ていただける住宅づくりを進めています。

さらに，つくばの科学技術の集積を生かしてハイテク関連の企業等を誘致し，働くまちとしても魅力あるまちづくりを進めています。早期の企業立地を図るとともに，駅前を中心とした商業やサービス施設，医療・福祉，教育施設などの集積により賑わいや交流あるまちを形成していきます。



市街化促進の取組み

つくばエクスプレス沿線地域の早期の市街化を図っていくために様々な取り組みを行なっています。

茨城県と都市公団茨城地域支社では，つくばエクスプレス沿線地域に居住の希望や関心のある方々の会員組織である「TX住みたいねっと」を今年1月に開設し，会員を募集しています。この「TX住みたいねっと」では，県内の沿線地域のまち・住まい情報や暮らしのアイデアなどを満載した情報を発信していくほか，沿線の魅力を生かしたイベント等も実施していく予定です。

また5月末には，この地域に立地を希望する企業へ具体的な土地情報を提供する「立地企業懇話会ホームページ」も開設しました。沿線地域に対する企業の反応も日に日に高まってきています。

このように来年秋のつくばエクスプレスの開業とまちびらきに向けて，沿線地域が徐々に盛り上がりつつあります。今後の展開にご注目下さい。

< 問い合わせ先 >  
 茨城県企画部新線・つくば調整課 新線推進担当  
 TEL 029(301)2687 / FAX 029(301)2689  
 " 新線沿線整備課 宅地企画担当  
 TEL 029(301)2798 / FAX 029(301)2699  
 URL <http://www.tsukubaexpress-ibaraki.jp>